

LCSAを活用した 学齢期の言語発達支援



近年、学齢期における言語・コミュニケーション発達への支援ニーズが高まっており、教育や福祉の現場では、子どもの言語発達特性を的確に把握し、個別に応じた支援を行うことが求められています。「LCSA学齢児版言語・コミュニケーション発達スケール増補版（以下LCSA）」は、通常学級で学ぶ学齢期の子どもを対象に、言語・コミュニケーション発達の状態を多面的に評価し、支援ニーズを明確にすることを目的としたアセスメントです。

本研修ではLCSAの著者である大伴潔先生をお招きして「LCSA学齢児版言語・コミュニケーション発達スケール増補版」を用いて捉えられる、言語発達に課題のある子どもの特徴や、言語発達障害の状態像について学びます。また、LCSAの基本的構造や活用方法を理解し、アセスメント結果から得られる言語発達プロフィールをもとに、学習面・生活面における支援ニーズの把握（さらにアセスメントを活用した言語発達支援の具体的手法について解説します。

日時

2025.12.6 土

講師プロフィール

時間

9:30～12:40 9時～受付開始

場所

新潟医療福祉大学 U棟503号室
アクセスマップは裏面に掲載

対象

学齢期のこどもの言語発達や発達支援
に興味のある方

定員

70名

参加費

臨床発達心理士会会員・準会員 500円
その他 2,000円

その他

臨床発達心理士は、研修ポイント 1 付与

大伴潔先生



国際基督教大学を卒業後、米国イリノイ大学修士課程・ワシントン大学博士課程を修了（言語聴覚学）。東京都神経科学総合研究所を経て、1992年より東京学芸大学に勤務。言語聴覚士。現東京学芸大学名誉教授。

お申し込みは下記コードからお願いいたします。

申し込み
お問合せ



先着70名
10/6(月)より申し込み開始

※臨床発達心理士会新潟支部所属の方には、別途支部総会の案内をメールでお送りします。

会場アクセス

